

第5学年3組 家庭科学習指導案

【日時】令和7年7月23日（水）13:30～14:15 【場所】家庭科室 【指導者】川浪 貴保

本授業の参観の視点

児童は、前時に立てた製作計画の見直しを行います。見本を作りながら、自分の課題を調整し、学び進める中で、家庭生活や学校生活を豊かにするための製作の工夫を考える児童の姿をご覧ください。

1 題材名 ミシンで楽しくソーイング

2 題材の構想

(1) 題材について

本題材は、「ミシン縫い」による目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱い方を理解し、適切に使用することができるようになることをねらいとしている。また、生活を豊かにする布製品の製作に取り組むとともに、製作したものを日常生活で活用する楽しさやよさを味わうことができると考える。現代の子どもたちを取り巻く衣生活の環境はとても便利である。多くの既製品が生産され、手作りせずとも自分の好みに合った物を比較的安価に購入することができる。また、破れたりほつれたりした場合は廃棄し、新しい物を購入することも多い。しかし、児童の中には、保護者に作ってもらった巾着袋を長く使用したり、前題材の「手縫い」の学習で製作したティッシュケースを学校で使用したりする姿も多く見られる。自分の好みに応じて色や形、大きさなどを工夫して製作を行う楽しさやよさを感じていると考えられる。本題材で取り扱う「ミシン縫い」は、前題材の「手縫い」に比べて速く丈夫に綺麗に縫うことができるよさがあるため、製作できる布製品の種類も豊富になる。より自らの生活をイメージし、生活に応じた布製品の製作に取り組むことができるだろう。

(2) 児童について

本学級の児童の多くは、家庭科の学習が好きで、意欲的に取り組んでいることが分かった（33名、97%）。また、「衣生活」は食生活に次ぐ2番目に児童の関心のある領域であることが分かった。その理由として、「学習したことを生かして作品を作ることが楽しい」「みんなにプレゼントを作ってあげたい」と答えており、製作活動を楽しみにしていることが分かる。また、自分の生活と関連させた製作物を作るよさを感じていることも分かる。前題材の「ソーイング はじめの一步」の学習では、裁縫用具の安全な使い方や基本的な縫い方を学び、手縫いで生活を豊かにする布製品の製作に取り組んだ。さらに児童は、小物作りの際に、毎時間、自分の課題を設定してその解決を行いながら製作に取り組んだ。また、解決を目指す際には、本時の途中で課題、取り組んでいる内容や学習方法などを自分で見直ししながら学習を行ってきた。しかし児童にとっては、本時の途中で課題や活動を見直しながら学習する経験が初めてだったため、見直しをすることの意義を感じ、自ら見直しを行おうとする児童は少なかった。これまでは、教師が一斉に見直しの時間を設定する時間が多かった。そこで本題材では、見直しを行う必要性に気付くことで、課題に対して自己調整しながら自ら学びを進められるような学習を行うことができるようにする。

(3) 指導について

指導に当たっては、題材を通して、児童自身の学びを蓄積していく「学習の足跡」を作成し、児童が自らの学びを整理したり、共有したりすることができるようにする。を通して、児童が自ら本時の課題を設定し調整しながら、学び進める経験を積むことができるようにする。その結果、児童一人一人に応じた学びをすることができ、自分の生活と関連付けた学習となり、生活を自ら創造する児童を育てることにつながると考える。また、第一次では、手縫い製品と比較をしたりしてミシン縫いのよさを感じることができるようにする。第二次では、ランチョンマットの製作を行い、目的に応じたミシン縫いの仕方、用具の安全な使い方や布製品の製作や製作計画の立て方について理解し、習得することができるようにする。第三次では、これまでの学習を生かして、生活を豊かにするための布製品の製作を行う。児童が考えた生活を豊かにする視点を基に、作品を仕上げるための製作手順や縫い方から、問題を見いだして課題を設定し、解決を行いながら製作を進めていく。また自分の生活を振り返ることで、問題を見

いだすことにつなげ、その解決のためにはどのような布製品を、どのように仕上げるとよいかを考える機会を作るようにする。さらに、製作を振り返ることで、作品の仕上がりや適切な縫い方や縫う順序になっていたかを考えることができるようにする。本時では、製作計画を見直し、改善する活動を行う。児童は、前時までにはどのような作品に仕上げると、自分が作りたい布製品がよりよい物になるかということについて考えている。その視点を意識して見本を作ったり、試し縫いをしたりしながら計画を見直すことで、よりよい縫い方や適切な製作手順について考えることができるようにすることをねらう。

(4) 期待する「回遊する学び」について

本題材における児童の姿を小学校全体テーマの「回遊する学び」に関わる内容と資質・能力に関連付け、下記のように整理する。

ステージB「同教科」

・ゆで野菜サラダを作った時に、食べる人のことを考えて課題を立てたな。私は、弟に苦手な野菜をおいしく食べて欲しかったから「弟が喜ぶゆで野菜サラダにしよう。」を課題に設定したよ。今回も家族が喜んでくれる物を作りたいな。そのためには、「見た目も美しく」を課題にしよう。



おいしく食べるために調理計画や調理の仕方について問題を見い出して課題を設定している。(家庭科「クッキング はじめの一步」【思考力、判断力、表現力等】)

→ ゆで野菜サラダを考えた際に、課題を設定した経験を想起できるようにし、作りたい布製品についての課題を設定することができるようにする。

ステージC「他教科等」

・明るい色の布にすると、使う時に楽しい気持ちになりそうだ。家族のみんなが使いやすい形のウォールポケットにしよう。



形や色、構成の美しさなどを感じながらどのように主題を表すかを考えている。(図画工作科「心のもよう」【思考力、判断力、表現力等】)

→ 色や形、素材の違う材料を準備することで、児童が目的に応じて材料を自由に選択することができるようにする。

ステージD「実生活・実社会」

・みんなが使って便利になったり、楽しい気持ちになったりするような布製品があつたらいいな。私の家族は忙しいから家族の掲示板になるようなウォールポケットがあればいいなあ。



課題に気付き、自分や他者の生活をよりよくしようとしている。(学校生活・家庭生活【学びに向かう力、人間性等】)

→ 生活を振り返ったり、家族や先生や他の学年の児童にインタビューしたりするなどの活動を設定する。

ステージA「同題材・領域」

・使う部屋に合ったワッペンを手縫いで縫い付けたいな。
・ボタンのつけ方は、手縫いの時に練習したから、その学習が生かせそうだよ。

手縫いの基礎的・基本的な知識及び技能を身に付けている。
(家庭科「ソーイング はじめの一步」【知識及び技能】)



→ 「手縫い」の学習の足跡を振り返ったり、動画をいつでも見返したりすることができるようにしておく。

題材のゴール：
布を使ってみんなの生活を豊かにしよう！

ステージA「同題材・領域」

・返し縫いをすると、丈夫になって糸端の始末も綺麗に仕上げられたよ。角縫いは、針をさしたまま方向を変えることがコツだったね、作品作りにも使えるそうだ。

ミシン縫いの的・基本的な知識及び技能を身に付けている。(家庭科「ミシンで楽しくソーイング」【知識及び技能】)



→ 「ミシン縫い」の学習の足跡を振り返ったり、動画をいつでも見返したりすることができるようにしておく。

3 題材の目標と評価規準

(1) 題材の目標

ミシンによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解し、生活を豊かにするための布を用いた物の製作を行う中で、問題を見だし、課題を設定し、その解決に向けて様々な方法を考えることで生活をよりよくしようと工夫し、実践しようとする態度を養うことができるようにする。

(2) 評価規準

ア 製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画やミシン縫いによる目的に応じた縫い方及び用具の安全な取扱いについて理解しているとともに、適切に縫ったり、使用したりしている。 【知識・技能】

イ 生活を豊かにするための布を用いた物の製作計画や製作について問題を見だして課題を設定し、よりよい解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決している。

【思考・判断・表現】

ウ 生活をよりよくしようと、生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

【主体的に学習に取り組む態度】

4 題材の指導計画（全 14 時間 本時 9 / 14 時間目）

次	時	主な学習活動（○）	指導上の留意点（・）	評価規準 （◆）【観点】	回 遊
一	1	○身の回りのミシンで作られた布製品を探し、ミシン縫いのよさを考える。	・布製品は生活に必要不可欠であることに気付くことができるようにする。 ・ミシン縫いと手縫いで作られた製作物を比較し、ミシン縫いの特徴やよさに気付くことができるようにする。	◆生活を豊かにするための布を用いた製作について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 【主】	A
	2	○下糸の準備や上糸かけなどのミシンの基本的操作と安全な使用方法を学ぶ。	・から縫い用の布を用意し、試し縫いをしながら基本的操作を学ぶことができるようにする。 ・ミシンの準備の動画を視聴し、視覚的に理解することができるようにする。	◆ミシン縫いをするための基本的な操作ができる。 【知・技】	
二	3 4 5 6	○自分が作りたいランチョンマットの大きさや色を考えながら型紙を製作し、布を裁つ。 ○ランチョンマットの製作計画を立て、見直しを行う。また、製作を行い、基本的な縫い方を練習する。	・布や布端の始末を行ったランチョンマットを観察することで、丈夫に仕上げるために三つ折りをする必要性に気付くことができるようにすると共に、出来上がりサイズに三つ折り分のぬいしろが必要なことに気付くことができるようにする。 ・拡大掲示物、動画を準備し、いつでも見返すことができるようにする。 ・返し縫いなどのよさについて尋ねることで、それぞれの縫い方の必要性を感じることができるようにする。	◆できあがりの大きさを考え、適切な大きさの型紙を作ることができる。 【知・技】 ◆縫い終わりや角の縫い方を考えた処理をすることができる。 【知・技】	A B C D
	7	○どのような布製品があれば、生活が豊かになりそうかを考え、製作したい布製品を決める。	・生活が豊かになるとは、どのようなことなのかを考えるように促し、作品のイメージをもつことができるようにする。 ・生活を豊かにするためのよりよい作品に仕上げる視点を設定することができるようにする。	◆どのような布製品があると自分の生活をよりよくすることができるかを考えようとしている。 【主】	
三	8	○自分が製作する布製品の製作計画を立てる。	・児童が作りたいと考えている布製品の工程の見本を掲示していくことで、製作のイメージをもつことができるようにする。	◆製作に必要な材料や手順が分かり、製作計画について理解している。 【知・技】	A C D
	9 本時	○不織布や画用紙で作りたい布製品の見本を作りながら、製作計画を見直す。	・不織布や色画用紙を準備し、見本を作りながら計画が適切な手順になっているかなどを確認できるようにする。 ・児童が前時までに設定した視点を提示することで、課題を設定したり計画を見直したりする時に意識できるようにする。	◆学校生活をよりよくするための布製品の製作計画を工夫し、立てている。 【思・判・表】	
	10	○作りたい布製品の大きさや色を考えながら型紙を製作し、布を裁つ。	・実際の型紙を製作する前に、友達と見合わせ適切な型紙になっているかを確認できるようにする。	◆ぬいしろを考え、適切なサイズの型紙を作ることができる。 【知・技】	A B C D
	11 12 13	○製作計画と型紙を基に布製品を製作する。	・学習の足跡に記録していくことで、次時の製作の見通しにつなげる。 ・似た布製品を作る児童同士でグルーピングし、協働的に学ぶことができるようにする。	◆製作計画に沿って、解決方法を試しながら、考えたことを表現するなどして課題を解決している。 【思・判・表】	
	14	○製作活動を振り返る。	・学習の足跡を基に振り返りを行い、次の学習や生活に生かす方法を考えるようにする。	◆布製品の製作を振り返り、生活を工夫し、実践しようとしている。 【主】	D

5 本時の指導（9／14）

(1) 指導目標

よりよい布製品を製作するために、生活を豊かにする布製品を作る視点を基に自らの製作計画を振り返り、製作計画を考えることができるようにする。

(2) 評価規準

イ 自分の生活に必要な布製品にはどのような工夫を施して仕上げてるとよいかを色画用紙や布を用いて見本を作ったり、試し縫いをしたりしながら考え、製作計画を改善している。【思考・判断・表現】

(4) 展開（波線部は「回遊する学び」に関わる手立て）

学習活動と児童の反応（□□□）	教師の働きかけと形成的評価（◆）																							
1 前時の活動を振り返る。（5分） - ウォールポケットの製作計画を立てたけど、ポケットを綺麗に作る方法を確認しておきたい。 - 教室の本棚のカーテンを作る計画を見直そう。みんながさわるから丈夫にした方がいいかな。	1-(1) 前時の活動の様子や振り返りを提示し、前回の活動の困り感などを提示し、本時の活動の見通しをもつことができるようにする。 1-(2) 事前に児童の製作物を把握しておくことで、似た布製品の児童同士でグルーピングしておく。																							
よりよい作品に仕上げるための工夫を考えよう																								
2 見本を作りながら、製作計画を見直す。 (1) 課題を設定する。（5分） - ウォールポケットに付けるポケットの見た目を綺麗に仕上げる方法を考えたいな。 - みんなが使う所にカーテンを付けるから丈夫に仕上げられるようにしておこう。 (2) 課題解決に取り組む。（25分） <table><tr><td>課題設定</td><td>ポケットを綺麗に仕上げる方法を考えよう。</td></tr><tr><td>解決の様子①</td><td>どの順番でどこを縫うと綺麗に仕上がるかな。余った布で試し作りをしてみよう。</td></tr><tr><td>課題の見直し</td><td>二つ折りと三つ折りの所があった。ランチョンマットの時と同じように縫えばよさそう。</td></tr><tr><td>解決の様子②</td><td>課題の解決はできそうだ、大きさまで確認しておこうかな。「ポケットの大きさを考えよう」を追加しよう。</td></tr></table> 「児童が考えた生活を豊かにするための視点」 <table><tr><td>作って嬉しい、</td><td>生活に役立つ、</td><td>自分で作るから）安い、</td></tr><tr><td>心が落ち着く、</td><td>毎日がハッピー、</td><td>気持ちよい、</td></tr><tr><td>生活が楽になる、</td><td>個性がある、</td><td>暮らしやすくなる、</td></tr><tr><td>楽しい、</td><td>便利、</td><td>居心地がいい、</td></tr><tr><td>生活がよりよくなる</td><td></td><td></td></tr></table>	課題設定	ポケットを綺麗に仕上げる方法を考えよう。	解決の様子①	どの順番でどこを縫うと綺麗に仕上がるかな。余った布で試し作りをしてみよう。	課題の見直し	二つ折りと三つ折りの所があった。ランチョンマットの時と同じように縫えばよさそう。	解決の様子②	課題の解決はできそうだ、大きさまで確認しておこうかな。「ポケットの大きさを考えよう」を追加しよう。	作って嬉しい、	生活に役立つ、	自分で作るから）安い、	心が落ち着く、	毎日がハッピー、	気持ちよい、	生活が楽になる、	個性がある、	暮らしやすくなる、	楽しい、	便利、	居心地がいい、	生活がよりよくなる			2-(1) 前時までの学習の足跡を参考にし、児童の思いや考えを見取っておくことで、本時で児童がどのような活動を行うかを予測し、必要な材料や作品の工程の見本の提示を行う。 2-(2) 児童が前時までに考えた生活を豊かにするための布製品作りの視点を提示することで、一人一人の見直すべきポイントを考えて課題を設定することができるようにする。（A）（B）（D） 2-(3) 色画用紙や余り布、ホチキスなどを準備し、見本を作ったり、試したりしながら児童が具体的なイメージをもって製作計画を見直すことができるようにする。（C） ◆ よりよい製作計画にするために、見本を作りながら大きさや手順を見直しているか。 （学習の足跡、観察） 【思・判・表】 B 自らの生活を豊かにする視点を意識してサイズや形、角の縫い方、縫い終わりの工夫を考え、適切な縫う手順になっているか。 C→ 教師が作った見本を参考にしたり、同じ製作物を作る児童に尋ねたりするように促す。 2-(4) 製作計画を行いながら、新たに見直すべきポイント発見した児童には、課題の再考を伝える。（B） 2-(5) 机間指導を行いながら、課題と活動がずれている児童には、課題と取り組んでいる内容を問う声かけを行い、矛盾に気付き児童が自ら課題や活動を調整することができるようにする。 2-(6) 学習の足跡に蓄積したランチョンマットの作り方や製作計画や友達の学習の足跡を参考にするように伝えることで、よりよい作品づくりへつなげることができるようにする。（A） 3-(1) 学習の足跡を用いて振り返りを行う場を設定することで、学びを蓄積したり、次時への見通しをもったりすることができるようにする。（A） 3-(2) 全体やグループで課題解決の様子や学んだことを共有することで、解決が難しかった課題の解決の参考になるようにする。
課題設定	ポケットを綺麗に仕上げる方法を考えよう。																							
解決の様子①	どの順番でどこを縫うと綺麗に仕上がるかな。余った布で試し作りをしてみよう。																							
課題の見直し	二つ折りと三つ折りの所があった。ランチョンマットの時と同じように縫えばよさそう。																							
解決の様子②	課題の解決はできそうだ、大きさまで確認しておこうかな。「ポケットの大きさを考えよう」を追加しよう。																							
作って嬉しい、	生活に役立つ、	自分で作るから）安い、																						
心が落ち着く、	毎日がハッピー、	気持ちよい、																						
生活が楽になる、	個性がある、	暮らしやすくなる、																						
楽しい、	便利、	居心地がいい、																						
生活がよりよくなる																								
3 本時の学習を振り返る。（10分） - 製作計画通りに見本を作ってみたら、完成できなかった。見直してよかったよ。 - 途中で、課題を見直してポケットの作り方も分かった。次の時間はポケットの型紙も忘れずに作るようにしよう。 - 型紙のサイズも決まったよ。早く作品も作りたい。 - 学習の足跡がたまってきた。今日の見本も写真で撮って残しておこう。																								